※令和4年度以降入学生用

学校番号	1003

令和　5　年度　　工　業　　科

教科	工業(ロボット工学系列)	科目	ロボット基礎実習A	単位数	2　単位	年次	2　年次
使用教科書	自主教材						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

加工機械と(2D・3D)CADについて実習を行います。
加工実習では旋盤などの工作機械を用いて材料を加工する製造実習を行います。
CAD実習ではCADソフトの操作方法を習得したのち、課題図面を作成してもらいます。
作業で行った内容や日誌を元にレポートの作成と提出が必要です。必ずノートを持参してください。

2　学習の到達目標

(1)各単元の目的とソフトや加工機の使用方法の理解
(2)加工機やソフトの操作を応用して作業工夫や作業内容を考察する力
(3)レポート作成による物事や設計プロセスをまとめる力と工夫を凝らす姿勢と忍耐力

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・操作方法や作業工程の理解 ・危険を予測し安全に作業する知識	・作業での工夫・反省　・ 設計過程での試行錯誤 ・レポートでの考察力	・実習に取り組む姿勢 ・提出期限の厳守 ・レポートの完成度 ・作業における忍耐力

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1	旋盤	旋盤を使った製品加工 危険作業での安全管理	a:安全行動 a:製作物の精度 b:工程を考えて作業できているか cレポートの完成度	製作物	レポート 作業工程	・レポート ・実習態度
2	2DCAD	2DCAD・3DCADの操作方法の習得 課題図面の作図	a:課題図面が作図できている c:主体的に取り組んでいる	製作図面		・実習態度
3	金属板の加工	金属板の加工とロウ付けによる課題製作	a:加工の精度 a:製品としての安全性 b:作業における反省や考察 c:忍耐力をもって積極的に作業している	製作物	レポート	・レポート ・実習態度
	CADCAM	ロボドリルを使ったCADデータの切削と製作	a:CADCAMの原理を理解しているか a:製作物の精度 b:レポートの考察 b:この実習の展望 c:レポートの完成度	・レポート ・製作物	レポート	・レポート ・実習態度

※　表中の観点について　　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度